

木材生産基盤の強化、計画的な森林整備に対する支援

【担当省庁】内閣府、農林水産省、林野庁

奈良県における取組



R4国予算額が前年度並み（100.1%）の伸びのなか、本県への配分は、前年度を上回る額としていただき感謝

■R2年4月 「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」施行

「奈良県県産材の安定供給及び利用の促進に関する条例」施行

■R3年4月 両条例に基づく行動計画「奈良県森林環境の維持向上及び県産材の利用促進に関する指針」公表（R7年度までの成果目標の設定）

今後、脱炭素社会の構築に向けて、二酸化炭素の森林吸収源の確保・強化を図るため、指針に基づき路網整備、機械化、人材育成等を推進することにより、計画的に間伐等の森林整備を実施し、森林資源生産機能が発揮された適正人工林を維持・拡大し、森林環境管理に努める。

1 生産基盤の強化

(1) 路網整備

- ・路網の基幹となる林道は、市町村等への補助と、広域的な場合の県代行により整備を推進
- ・作業道は、大規模集約化施業団地において、急峻な地形でも壊れにくい奈良県独自の作業道「奈良型作業道」の整備を重点支援

■路網整備の目標

	現況値(R2)	目標値(R7)
林内路網密度	18.9m/ha	20.4m/ha

(2) 機械化

- ・高性能林業機械の購入、レンタル、リースによる導入支援
- ・高性能林業機械等のオペレーター養成研修の実施

■林業機械普及の目標

	現況値(R1)	目標値(R7)
導入台数	71台	80台

2 計画的な森林整備の拡大

- ・森林施業の集約化により計画的な森林整備を拡大
- ・木材生産量の増加により、建築物やバイオマス燃料としての利用も拡大し、温室効果ガスの排出抑制にも寄与

■ 森林整備の目標

	現況値 (R2)	目標値 (R7)
森林経営計画等に基づく森林施業面積	4,107ha/年	6,800ha/年
木材生産量	15.7万m ³ /年	20万m ³ /年



林道を活用したトラックによる木材の搬出



高性能林業機械による造材



森林整備が行われた健全な森林

国にお願いすること

- ・路網の整備及び高性能林業機械の導入、並びに間伐等の森林整備の実施に係る事業の国費財源について、十分かつ安定的に確保することを要望する。

<主な国交付金・補助金>

- ・農山漁村地域整備交付金
- ・地方創生道整備推進交付金
- ・森林環境保全直接支援事業補助金
- ・美しい森林づくり基盤整備交付金
- ・林業・木材産業成長産業化促進対策交付金